

[illegible]

征く者、送る者感激の坩堝

[illegible]

皇太后陛下

〔東夷雜記〕 宮城に行啓
幕太師殿下は廿
八日午前、時三十分大嘗祭所
出陣、大嘗祭皇宮大夫、供養
の爲に自助車隊にて禮殿前を宮
城行啓、大関にて
三陛下御馳込て午祭を召させ
給へ、祭後の午後猶、和物御馳
進されられたる、午祭時高野
城御出陣、御馳進せられたる
に御馳進せられたる

慈仁御の下陞后皇

式連傳金賜下御の晴で赤日

さ給へ、遷座代て金、御冠御下御の御物あらせられたので、日赤御座、本館では廿八日午後一時から御冠御座で同席約五十餘名衆の間に御宴食を執り行つた。この日、藤岡院長から河上君、井上吉選、三屋清子、三條啓の諸氏に製とせられた贈り物金、の義氣があつて、後「赤十字病院」について更に、斯く日本赤十字病院、島根支店が、かゞと示し、謝される、恩意である」の、挨拶、

同席時、赤日式を閉つた（第一、取巻子）

この勞苦、山の戰士に應へよ

【屋牙嶺山中にて陽山
特派員發】陽山嶺上山から 千里さると檜木嶺といふて、この山を越えぬと、 谷道
も極めて不便であるが、（中略） 今、（中略） 谷道



朝ふ山の人人々

温情籠るお守

りき、市民の「国民入会」を
てまない小磯泰吉は、数語に
に「閣議決定の調子」とを暗りに
の腕をなすため、一瞬半を
顧問室で開かれた「閣議」の形
式を脱した。

この日中政務総監、大野
局長、小島、後援開業審官宮
のもとに内務省関係の紙に

猶大、法務、商工、農林、海
普成風、延焼、惠し、明、
城大、穀物の急死、経緯等

（左）大野、（中）小島、（右）大野

經理、法務部の
志願資格を擴

[illegible]

翼へ相踵ぐ赤誠

半島、千五百萬の巨款を考へてい
ふ金額に達せられてゐる。行爲動
機、財政資金は、金と銀とと通
つてある。その幣主權に日本が
日本を以て主權を握れたものの
明で出た。

建艦へ卅餘萬圓

[illegible]

タイガ 半焼

陸奥第一日官、久松經時、神師、陸奥省では、米澤藩の以ての至藩卿でなれば、高麗資格となつたが、今後ははるの間に別役役に年増したことのあらうとなつた高麗資格を認めることになつた

参詣し廿八日通々京橋、東京府邸へ到着し、松金を通じて、肥後藩、会州と、謝辭ついで、の從士を遣へ、松金、空閑、土居とのまゝ高麗を命ぜられた

一月一日以後の殿給、親書、なご慶喜の御出、小田田町、

子士五日後、ある、石養圃

殿は、謝辭、役、最、

富田商會へ
突入し柳富額四十一萬五千圓を返
かに突破し五十三萬四千八百八十

[illegible]

靖國へ奉獻米

[illegible]

大性が孕まれてゐるのだ
 かくて生醗される薪は、木炭は

[illegible]

國
 民
 激
 勵
 を
 送
 つ
 て
 官
 民
 一
 體
 冬
 の
 都
 會
 の
 主
 店
 工
 場
 等
 を
 送
 つ
 て
 む
 る
 の
 出
 出

[illegible][illegible]

定刻に屠蘇ぐらゐで 元旦にも開常會

府民へ聯盟から新春の心構へ

「屠蘇」の語は、古くは「屠蘇酒」の略で、元旦に飲む習慣がある。本報は、この機会に、府民へ新春の心構へを訴へ、聯盟の活動方針を明らかにする。...

反省して前進

最後の愛國班回報

愛國班の活動は、市民の心を奮起させることに成功したが、同時に、我々の活動が、市民の生活に与える影響を、深く反省する必要がある。...

完納へいま一息

残るは鍾路廿二町會

本市の各町會の納金状況は、概ね完了しているが、残る鍾路廿二町會の納金を、速に完納させることが、本市の財政健全化のために重要である。...

勝抜く決意も新た

更に進取意を奮起する道徳用納式

道徳用納式の導入は、市民の道徳心を高め、社会の秩序を維持するのに役立つ。我々は、この新しい制度に、積極的に取り組む決意を新たにする。...

市・町・村
ハロー

米鬼撃滅へ
奮起を促す

米鬼撃滅へ
奮起を促す

ラッキー
第一放送
第二放送

戦線
重工業の戦場

品名	単価	数量	合計
米	100	1000	100000
小麦	80	800	64000
大豆	120	600	72000
...

京日案内
女子事務員採用
求職者募集
...

大日本海外新聞
行け南万共楽園へ大陸へ
...